

<近畿> 大阪府立大学工業高等専門学校（公立）

*****断り*****

図や一部文章は当該高専 HP 及び当該高専が作成する資料より引用

大阪府立大学工業高等専門学校 HP : <https://www2.ct.osakafu-u.ac.jp/>

2020 学校要覧 : [大阪府立大学工業高等専門学校 2020 年度 学校要覧](#)

*アクセス(図は府大高専 HP より引用)

〒572-8572 大阪府寝屋川市幸町 26-12



図 1 アクセスマップ

*特色(図や一部文章は府大高専 HP より引用)

- ・昭和 38 年の創立以来、機械、電気、化学、土木など工学の専門分野ごとの学科に分かれて教育を行っている。
- ・「総合工学システム学科」を平成 17 年度からスタートし、ものづくりに関わる企画・設計・生産をトータルに考え、実践できる技術者を育成

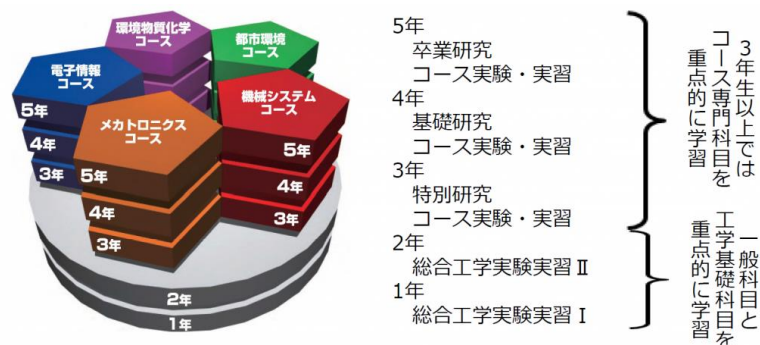


図2 総合工学システム学科

- ・本科は総合工学システム科として、機械システムコース、メカトロニクスコース、電子情報コース、環境物質化学コース、都市環境コースがある。
- ・専攻科は総合工学システム学科として、機械工学コース、電気電子工学コース、応用化学コース、土木工学コースで編成している

*教育目標・教育理念(一部文章は府大高専 HP より引用)

目的及び使命

大阪府立大学工業高等専門学校は、ものづくりの街大阪において、深く専門の学芸を教授し、創造力と高い倫理観のある実践的技術者を養成することを目的とし、その教育及び研究の機能を活かして、地域及び産業の発展に寄与することを使命とする。

教育理念

自律・実践・協調

教育方針

「自律」は、心身を鍛え、自らを律し、物事を多角的に理解できる幅広い視野と教養を基礎として、目下の課題を自覚し、それを達成するために、自ら考え、学び、行動できる自律性をもった人材を養成することを意する。

「実践」は、学び考えたことを、積極的に行動にうつし、たとえ失敗してもその失敗を活かして、目的を達成するためのよりよい方法と結果をめざす、進取の気性と向上心をもった人材を養成することを意味する。

そして、「協調」は、社会や組織のなかで、自らの役割や責任を自覚し、異なる考えや立場をもった他者とも対話をもって共通理解をつくり、協力して取り組むことのできる社会性と、リーダーシップをもった人材を養成することを意味する。

これが、学習・生活・進路など、学校生活のあらゆる場面で本校教職員が共通に持つ教育方針であり、自律した人間たれ、チャレンジ精神旺盛に実践せよ、社会のなかでリーダーシップをもった人材たれという、学生諸君へのメッセージである。

養成する人材像

本科で養成する人材像

ものづくりの場でのリーダー的資質を備えた創造力と高い倫理観のある実践的な技術者

【機械システムコース】

ものづくりをトータルに支える柔軟な思考力を持つ機械技術者

【メカトロニクスコース】

機械と電気とコンピュータを総合化してシステムを作れるメカトロニクス技術者

【電子情報コース】

情報化社会において活躍できる創造性豊かな電子情報技術者

【環境物質化学コース】

ものづくりの根底を支え、環境に配慮しながら物質や生産プロセスを創造できる
化学技術者

【都市環境コース】

幅広い視野を持ち、環境に配慮した都市を創造できる建設技術者

専攻科で養成する人材像

ものづくりの場でのリーダー的資質を備えた、創造力と高い倫理観があり、国際的に通用する実践的な開発・研究型技術者

【機械工学コース】

ものづくりをトータルに捉え、エネルギーや環境問題のような社会システムに対応できる
開発・研究型機械技術者

【電気電子工学コース】

情報化社会において活躍できる創造性豊かな開発・研究型電気電子技術者

【応用化学コース】

ものづくりの根底を支え、環境に配慮しながら物質や生産プロセスを創造できる
開発・研究型化学技術者

【土木工学コース】

幅広い視野と深い専門知識を持ち、環境に配慮した都市を創造できる
開発・研究型建設技術者

卒業（修了）時に身につけるべき学力や資質・能力

本科卒業時に身につけるべき学力や資質・能力＝本科達成目標

A 豊かな人間性と社会性

- A-1 社会の仕組みや歴史・文化についての基礎知識を身につけ、技術と人間とのかかわりについて理解する。
- A-2 言語文化についての基礎知識と、日本語による口頭・記述での表現力および基本的な英語能力を身につける。
- A-3 スポーツや芸術の体験的学習を通じて技能と柔軟な表現力を身につける。
- B 数学・自然科学・情報の基礎知識と応用する能力
- B-1 数学や自然科学の基礎知識を身につけ、応用することができる。
- B-2 情報技術に関する基礎知識と技術を身につけ、基礎的な解析やデータ処理ができる。
- C ものづくりの基礎となる知識と技術の修得
- C-1 基礎的専門知識と技術を身につける。
- C-2 地球環境への影響や社会の要求を理解できる。
- D ものづくりを、計画的かつ組織的に遂行する総合化能力
- D-1 ものづくりの工程を体系的に理解し、他者と共通認識を形成しながら仕事を遂行するための基本を身につける。
- D-2 必要な知識を主体的に身につけながら課題にとりくむ。

専攻科修了時に身につけるべき学力や資質・能力＝専攻科達成目標

＝JABEE 学習・教育目標

A 豊かな人間性と社会性

- A-1 社会の仕組みについての知識を基礎として、技術と社会とのかかわりについて理解し、思考できる。
- A-2 言語・文化の違いをふまえて物事を理解し、日本語による口頭・記述での論理的な表現力および英語によるコミュニケーション能力をもつ。

B 数学・自然科学・情報の基礎知識と応用する能力

- B-1 数学や自然科学の知識を応用して基礎的な課題を解決することができる。
- B-2 情報技術に関する知識をもち、事象を数理的にモデル化し解析やデータ処理ができる。

C ものづくりの基礎となる知識と技術の修得

- C-1 専門知識と技術を身につける。
- C-2 地球環境への影響や社会の要求に配慮できる。

D ものづくりを、計画的かつ組織的に遂行する総合化能力

- D-1 ものづくりの工程を体系的に理解し、他者と共通認識を形成しながら、組織的に仕事を遂行できる。
- D-2 ものづくりの課題を自ら理解・発見し、必要な知識を主体的に身につけながら、計画的に仕事を遂行できる。

*JABEE 認定(一部文章及び表は府大高専 HP より引用)

2008年5月に2007年度修了生から2011年度修了生,2013年4月には2012年度修了生から2017年度修了生,2019年3月には2018年度修了生から2023年度修了生までの期間で、「総合工学システム」教育プログラムとしてJABEEの工学(融合複合・新領域)及び関連のエンジニアリング分野関連分野の認定を受けた。

なお、「総合工学システム」教育プログラムの学習・教育到達目標は、専攻科の達成目標と同じです。専攻科を修了すれば達成される設計になっている。

専攻科 達成目標

(「総合工学システム」教育プログラムの学習・教育到達目標)

A. 豊かな人間性と社会性	
A-1	社会の仕組みについての知識を基礎として、技術と社会とのかかわりについて理解し、思考できる。
A-2	言語・文化の違いをふまえて物事を理解し、日本語による口頭・記述での論理的な表現力 および英語によるコミュニケーション能力をもつ。
B. 数学・自然科学・情報の基礎知識と応用する能力	
B-1	数学や自然科学の知識を応用して基礎的な課題を解決することができる。
B-2	情報技術に関する知識をもち、事象を数理的にモデル化し解析やデータ処理ができる。
C. ものづくりの基礎となる知識と技術の修得	
C-1	専門知識と技術を身につける。
C-2	地球環境への影響や社会の要求に配慮できる。
D. ものづくりを、計画的かつ組織的に遂行する総合化能力	
D-1	ものづくりの工程を体系的に理解し、他者と共通認識を形成しながら、組織的に仕事を遂行できる。
D-2	ものづくりの課題を自ら理解・発見し、必要な知識を主体的に身につけながら、計画的に仕事を遂行できる。

なお、上記の学習・教育到達目標は、下記のJABEE基準1-(2)の項目(a)~(i)に

次の表のように対応している。

基準 1-(2) 学習・教育到達目標		(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
(A)	A-1	○	◎							
	A-2	○					◎			
(B)	B-1			◎						
	B-2			◎						
(C)	C-1				◎					
	C-2	◎	○			○				
(D)	D-1					◎	○		○	◎
	D-2				○		○	◎	◎	○

JABEE 基準 1-(2)の知識・能力 (a)～(i)

- (a) … 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) … 技術が社会および自然に及ぼす影響や効果，および技術者が社会に対して負っている責任に関する理解
- (c) … 数学及び自然科学に関する知識とそれらを活用する能力
- (d) … 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力
- (e) … 種々の科学，技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) … 論理的な記述力，口頭発表力，討議等のコミュニケーション能力
- (g) … 自主的，継続的に学習する能力
- (h) … 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめる能力
- (i) … チームで仕事をするための能力

***3つのポリシー(一部文章は府大高専学校要覧 2021 より引用)**

本科 (準学士課程)

1. 入学者受入方針 (抜粋)

本校は次のような興味と資質や能力を持った入学生を求めている

(1) 興味・関心

- ・ものづくりに興味・関心のある人
- ・情報通信・地球環境・エネルギー問題に興味・関心のある人

(2) 資質・性格

- ・何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神の旺盛な人
- ・いろいろな人と協力して行動できる人

(3) 能力

- ・数学・理科・英語・技術が得意な人

2. 教育課程編成方針

「本科卒業時に身につけるべき学力や資質・能力」の達成を目的として、以下の3項目の方針の下で教育課程編成を行う。

- (1) 2年次までは、一般科目および工学基礎科目を共通に学んだ後、3年次からは、配属されたコースにおいて専門工学分野の知識・技術を教育する。
- (2) 一般科目等の学習によって社会人としての基本的素養を身につけさせることで人間性を養う。
- (3) 実験・実習などの体験的学習に重点をおいた専門科目の教育を通して、ものづくりおよび専門工学分野の基礎知識と基本技術を確実に定着させる。

3. 卒業認定方針

深く専門の学芸を教授し、創造力と高い倫理観のある実践的技術者を養成することを目的とする。教育実践により、以下の4項目の準学士（工学）と称するに相応しい能力と人間性を備え、かつ、第5学年の課程を修了した者に対し卒業を認定する。

- (1) 技術課題を自ら見出し、創造性を発揮して総合的に解決できる実践力を身につけた者
- (2) 論理的に考え、それに基づいて自己表現およびコミュニケーションができる能力を身につけた者
- (3) ものづくりにおける指導者としての基本的能力を身につけた者
- (4) 技術者としての地域社会や地球環境に対する社会的責任を自覚して、行動できる資質を身につけた者

専攻科（専攻科課程）

1. 入学者受入方針（抜粋）

本校は次のような興味と資質や能力を持った入学生を求めている。

- (1) 興味・関心
 - ・ものづくりへの目的意識が明確な人
 - ・選択したコースの専門工学分野に関心があり、その分野で学士の学位を取得したい人
- (2) 資質・性格

- ・何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神の旺盛な人
- ・自分で計画を立てて、ものづくり学習に打ち込める人
- ・異分野を含めた周囲の人達と協力してものづくりに取り組める人

(3) 能力

- ・しっかりとした基礎学力と専門的な知識・技術をもつ人
- ・企業現場等学校外の学習の場でも積極的に活動でき、また社会的常識を備えた人

2. 教育課程編成方針

「専攻科修了時に身につけるべき学力や資質・能力」の達成を目的として、以下の 4 項目の方針の下で教育課程編成を行う。

- (1) ものづくり教育を全コース共通に行うとともに、選択したコースに対応する工学分野の学士の学位を取得できる工学専門教育を行う。
- (2) 府内の企業等と協力した新しい発想による OJT (on-the-job training : 実地訓練) に基づいて、技術課題を自ら発見し、それらを創造的・総合的に解決できる能力を育成する。
- (3) 全コース共通の工学システム科目群を通して、ものづくりにおける構想、開発、設計、製造、運用などの全工程の役割を理解し、工学システムデザインができる能力を育成する。
- (4) 社会人入学生には工学システム科目群および各専門コース科目の学習により、社会人として培われた技術をさらに深化させるブラッシュアップ教育を行う。

3. 修了認定方針

高等専門学校における教育の基礎の上に、より高度な工学に関する専門知識と技術を教授し、研究を指導することにより、創造力と高い倫理観があり、実践的な開発・研究型技術者を養成することを目的とする教育実践により、以下の 6 項目の能力と人間性を備え、かつ、第 2 学年の課程を修了した者に対し修了を認定する。

- (1) 技術者としての地域社会および地球環境に対する責任を自覚して、行動できる能力を身につけた者
- (2) 自らの専門技術を基盤として、他の領域や境界領域の技術を統合して独創的な技術を開発する総合化能力を身につけた者
- (3) 自ら発見した問題を、自ら解決でき、問題によっては異分野の技術者をコーディネーターして解決する能力を身につけた者
- (4) ものづくりにおける全工程の役割を体系的に理解して、実践的に行動できる能力を身につけた者
- (5) ものづくりにおけるデザイン能力を身につけた者
- (6) 日本語および英語によるコミュニケーション能力を身につけた者

*入試形態(URL は府大高専 HP より引用)

[令和3年度 学生募集要項](#)

[令和3年度 第4年次編入学生 募集要項](#)

[令和3年度 専攻科学生募集要項](#)

*試験状況及び偏差値や倍率(一部文章及び表は府大高専 HP より引用)

国立高等専門学校機構では平成28年度入学者選抜試験(平成28年2月実施)よりマークシート方式による解答が導入されています。それに伴い、本校の平成28年度本科入学試験<学力検査による選抜>(平成28年2月実施)よりマークシート方式による解答を採用

本科入学者選抜状況

2020年度 入学者選抜出願状況

選抜の種類	募集人員	志願者数
小論文と面接による特別選抜	40	156
学力検査による選抜	120	225

2019年度 入学者選抜出願状況

選抜の種類	募集人員	志願者数
小論文と面接による特別選抜	40	142
学力検査による選抜	120	249

平成30年度 入学者選抜出願状況

選抜の種類	募集人員	志願者数
小論文と面接による特別選抜	40	148
学力検査による選抜	120	264

平成29年度 入学者選抜出願状況

選抜の種類	募集人員	志願者数
小論文と面接による特別選抜	40	143
学力検査による選抜	120	270

平成28年度 入学者選抜出願状況

選抜の種類	募集人員	志願者数
-------	------	------

小論文と面接による特別選抜	40	143
学力検査による選抜	120	278

平成 27 年度 入学者選抜出願状況

選抜の種類	募集人員	志願者数
小論文と面接による特別選抜	40	41
学力検査による選抜	120	174

2020 年度 推薦による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システムコース	1	1
メカトロニクスコース	2	1
電子情報コース	1	1
環境物質化学コース	1	1
都市環境コース	1	1
計	6	5

2020 年度 学力検査による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システムコース	0	0
メカトロニクスコース	2	2
電子情報コース	3	0
環境物質化学コース	1	1
都市環境コース	0	0
計	6	3

平成 31 年度 推薦による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システムコース	2	1

メカトロニクスコース	1	1
電子情報コース	2	2
環境物質化学コース	1	0
都市環境コース	1	1
計	7	5

平成 31 年度 学力検査による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システムコース	1	0
メカトロニクスコース	5	4
電子情報コース	4	2
環境物質化学コース	0	0
都市環境コース	2	1
計	12	7

平成 30 年度 推薦による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システムコース	3	1
メカトロニクスコース	1	1
電子情報コース	1	1
環境物質化学コース	1	1
都市環境コース	0	0
計	6	4

平成 30 年度 学力検査による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システムコース	2	0
メカトロニクスコース	3	1

電子情報コース	3	1
環境物質化学コース	1	0
都市環境コース	0	0
計	9	2

平成 29 年度 推薦による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システムコース	1	1
メカトロニクスコース	3	2
電子情報コース	3	2
環境物質化学コース	1	1
都市環境コース	1	1
計	9	7

平成 29 年度 学力検査による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システムコース	2	1
メカトロニクスコース	2	0
電子情報コース	6	1
環境物質化学コース	3	2
都市環境コース	0	0
計	13	4

平成 28 年度 推薦による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システム	1	1
メカトロニクス	3	1
電子情報	3	2

環境物質化学	0	0
都市環境	0	0
計	7	4

平成 28 年度 学力検査による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システム	0	0
メカトロニクス	0	0
電子情報	2	0
環境物質化学	5	3
都市環境	2	1
計	9	4

平成 27 年度 推薦による選抜 志願者数と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システム	2	1
メカトロニクス	1	1
電子情報	4	2
環境物質化学	1	1
都市環境	1	1
計	9	6

平成 27 年度 学力検査による選抜 志願者と合格者数

第一希望コース	志願者数	合格者数
機械システム	1	0
メカトロニクス	0	0
電子情報	1	0
環境物質化学	2	1

都市環境	0	0
計	4	1

2020 年度 前期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学コース	6	6
電気電子工学コース	5	5
応用化学コース	11	11
土木工学コース	3	3
計	25	25

2020 年度 後期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学コース	3	2
電気電子工学コース	1	0
応用化学コース	0	0
土木工学コース	0	0
計	4	2

平成 31 年度 前期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学コース	8	8
電気電子工学コース	5	5
応用化学コース	6	5
土木工学コース	6	6
計	25	24

平成 31 年度 後期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学コース	2	1
電気電子工学コース	1	0
応用化学コース	0	0
土木工学コース	1	1
計	4	2

平成 31 年度 社会人選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学コース	0	0
電気電子工学コース	1	1
応用化学コース	0	0
土木工学コース	0	0
計	1	1

平成 30 年度 前期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学コース	10	9
電気電子工学コース	6	5
応用化学コース	10	10
土木工学コース	1	1
計	27	25

平成 30 年度 後期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学コース	1	0
電気電子工学コース	1	0
応用化学コース	0	0

土木工学コース	1	1
計	3	1

平成 29 年度 前期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学コース	7	6
電気電子工学コース	6	6
応用化学コース	5	5
土木工学コース	6	5
計	24	22

平成 29 年度 後期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学コース	1	1
電気電子工学コース	1	0
応用化学コース	0	0
土木工学コース	2	1
計	4	2

平成 28 年度 前期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学	13	12
電気電子工学	5	4
応用化学	6	6
土木工学	4	4
計	28	26

平成 28 年度 後期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
-------	------	------

機械工学	2	2
電気電子工学	4	1
応用化学	1	0
土木工学	0	0
計	7	3

平成 28 年度 社会人選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学	0	0
電気電子工学	1	1
応用化学	0	0
土木工学	0	0
計	1	1

平成 27 年度 前期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学	15	12
電気電子工学	3	3
応用化学	5	4
土木工学	3	2
計	26	21

平成 27 年度 後期選抜 志願者数 と 合格者数

希望コース	志願者数	合格者数
機械工学	6	5
電気電子工学	1	1
応用化学	1	1
土木工学	3	1

計	11	8
---	----	---

*卒業後の進路状況(URL は府大高専 HP より引用)

就職先一覧

本科卒業生

[2019 年度就職先【PDF】](#)

[平成 30 年度就職先【PDF】](#)

[平成 29 年度就職先【PDF】](#)

[平成 28 年度就職先【PDF】](#)

[平成 27 年度就職先【PDF】](#)

専攻科修了生

[2019 年度就職先【PDF】](#)

[平成 30 年度就職先【PDF】](#)

[平成 29 年度就職先【PDF】](#)

[平成 28 年度就職先【PDF】](#)

[平成 27 年度就職先【PDF】](#)

進学先一覧

本科卒業生

[2019 年度進学先【PDF】](#)

[平成 30 年度進学先【PDF】](#)

[平成 29 年度進学先【PDF】](#)

[平成 28 年度進学先【PDF】](#)

[平成 27 年度進学先【PDF】](#)

専攻科修了生

[2019 年度進学先【PDF】](#)

[平成 30 年度進学先【PDF】](#)

[平成 29 年度進学先【PDF】](#)

[平成 28 年度進学先【PDF】](#)

[平成 27 年度進学先【PDF】](#)